



# 松山東雲中学・高等学校

〒790-8541

愛媛県松山市大街道3丁目2-24

TEL 089-941-4136

FAX 089-931-4973

明治19年 キリスト教主義による私立松山女学校創立

昭和7年 松山東雲高等女学校と改称

キリスト教の信仰に人格形成の基礎を置いた女子教育を行うことを校訓とし、礼節を重んじ、他人と強調する中で思いやりと優しい心、どのような困難にも柔軟に対応し、立ち向かっていくたくましい心を育てる。また、末永く健康的な生活を送ることが出来る知識や気力・体力を育て、一人ひとりの能力を引き出す学習指導により、夢の実現を図ることを教育指導方針とする。

学級数：10 生徒数：274 普通科（※学級数・生徒数は高校生）

## 乳児院でハンドベル演奏

ハンドベル部は、乳児院や正門前ロープウェイ通り、病院、クリスマスイベント等、遠くは韓国まで行って演奏している。優しい音色に、聞く人の心を癒してくれる。

また、大切なキリスト教の行事として、花の日礼拝がある。この日は、普段かかわってくれるペテル病院やNTT病院、ロープウェイ商店街の人々に感謝の気持ちを込めて花を贈る。

演劇部は、毎年1学期に、キリストの礼拝をしていただいていることに感謝して、刑務所と老人ホーム丸山荘に行って演劇をする。

月に、1～2度、早朝、学校前のロープウェイ街の清掃を部活動有志がしている。この活動は、「小さな親切」運動から表彰を受けた。

茶道部は、城山春まつり、俳句甲子園のお茶席のお手伝い等をしている。



あしなが募金



丸山荘公演 演劇部

どの活動も、関係者から温かい感謝のことばをいただいている。生徒たちは、感謝されたり自分たちの活動が認められたりすることで、やりがいを感じたり、次の活動への動機づけとなっている。

生徒に社会の一員であるという自覚を持たせるとともに、社会で貢献することの喜びを感じさせる手段の1つとして、今後もさまざまなボランティア活動を生徒と一緒に考えていきたいと考えている。

また、引率教員の問題や活動時間のこと、関心のない生徒へどのように呼びかけをしていくかが今後の課題である。



# 松山城南高等学校

790-8550

愛媛県松山市北久米町 815 番地

TEL 089-976-4343

FAX 089-976-4348

明治 24 年 ジョンソン女史、西村清雄と共に松山市三番町に「普通夜学会」を創立

昭和 13 年 文部大臣指定「松山夜間中学」と改称

昭和 23 年 定時制高等学校、松山城南高等学校と改称

昭和 36 年 定時制廃止、全日制高等学校となる

「受けるよりは与えるほうが幸いである」という聖書の言葉により設立。キリスト教主義教育を通して、一人一人が自分の人生の意味を追求し生きる力を養うことをサポートする。

学級数：26 生徒数：737 普通科・商業科・調理科・看護科・福祉科

## 老人福祉施設に花を届ける



調理科では、授業の一環として、グルメ甲子園に出場、鯛めしの上にジャコやタコのおんかけをのせたものを出品、準優勝に輝いた。

福祉科では、福祉施設での介助、イベントの手伝い、病院を訪問し、手話による劇やダンスを披露している。

理科部は、城南戦隊ゴガッカーというローカルヒーローを誕生させて地域のイベントに参加、大好評であった。

VYS 部では、「伊予東温 VYS」と協力して、伊予市、東温市、土居町などの児童館や公民館で、子どもと一緒にレクレーションやクラフト作り、また、「美川 VYS」主催のクリスマス会で上浮穴高等学校 VYS、伊予東温 VYS とともに活動している。また、近隣の老人福祉施設を訪問する。運動会前の清掃や、本校の伝統行事である花の日礼拝の後、施設に花を贈りレクレーションや食事介助など交流を図っている。

児童館職員は、個々で遊ぶ子どもたちが多く、高校生が来てくれることで、集団で遊ぶ楽しさを感じたようだと喜んでくれる。また、老人福祉施設では、若い人と話す機会がないので、一緒にお茶を飲めることがとても嬉しいと楽しみにしてくれているようだ。



城南戦隊ゴガッカー



岩手県大船渡市仮設住宅にて

東日本大震災で被災した宮城県石巻市にある仮設住宅を訪問するボランティア・プロジェクトを PTA 主催で行っている。教員、生徒も保護者同伴で参加、3 年目となる。昨年、お腹の大きかった人が、次に会うと母親になっていたりと、感無量である。

ボランティア活動の参加者はまだ一握りだが、賛同者や協力者を増やして、一人でも多くの生徒が活動に参加できるようにしていきたい。



# 新田高等学校

〒791-8604

愛媛県松山市山西町 663

TEL 089-951-0188

<http://www.nitta.ac.jp>

昭和 13 年 新田中学校設置認可（新田仲太郎翁創設）

昭和 23 年 新田高等学校開校

健全な人格を有する人材の育成を目指し、生徒一人ひとりの個性を伸ばさせ、明日の社会に貢献できる有為な人材の育成を図ることを教育方針とする。

学級数： 生徒数：1585 普通科・工業技術科

## 資料を基に戦争体験の聞き取り・パソコン入力

JRC 部は、平和活動への取り組みとして、学校の記念館にある膨大な戦時中の資料をパソコン入力している。大変な作業ではあるが、退職した教員に指導していただきながら活動を続けている。また、同窓会の方々に来校していただいて戦時中の話を聞かせていただくこともある。生徒にとっては歴史を知るよい機会となっている。

また、月に 1 度、老人保健施設を訪問して、1 時間程度入所者と一緒に童謡等を歌う「うたの会」も行っている。入所者の方々からは、「またきてね」「ありがとう」という言葉をもらっており、生徒の働きかけが未熟な中でも喜んでいただけていると感じている。

数年前、松山城の学芸員から「もっと面白い活動を一緒に企画しよう」と持ちかけられ、以来年数回、櫓の清掃や観光客への鎧の着付けボランティアを行うようになった。



校内の花壇の手入れ、古切手の回収、文化祭でのバザー、あしなが学生募金への参加、他にも野球部が落ち葉の清掃、生徒会があいさつ運動を行っている。

近年、外遊び・集団体験・地域とのかかわり・自ら企画し実行する、などの経験に乏しい生徒が増えてきている。ボランティアを通して、自分と違う体験や意見をもった同年齢・異年齢にかかわることで、社会性を身に付けたり、集団でのあたたかいかかわりを学んだり、人と交流することの嬉しさを実感したり、社会に積極的にかかわる意欲をもつようになっていたりしている。

どの生徒も活動に参加してよかったと思えるように、同年齢・異年齢と協調できるスキルを身に付けさせることが今後の大きな課題である。





# 愛光学園

〒791-8501

愛媛県松山市衣山 5-1610-1

TEL 089-922-8980

FAX 089-926-4033

1953年2月、最初の愛光中学入試、男子校として出発する。設立母体は聖ドミニコ修道会。厳しい学問探求とキリストの愛の精神を支柱とする。

高貴なる普遍的教養を体得して、世界に愛と光を増し加え、輝く知性と曇りなき愛の使徒であることを信条としている。

2002年には50周年を迎え、男女共学として新たな1歩を踏み出した。

学級数：15 生徒数：690 普通科（※学級数・生徒数は高校生）

## 学園内の風紀を生徒の相互扶助で

生徒会活動として（20名程度）学校正門で年3回のあいさつ運動、生徒に呼びかけての赤い羽根・東北大震災の募金活動、不定期ではあるが、最寄りの駅・コンビニ等でマナーチェックや巡視をしている。

また、トイレ、手洗いの石鹸などの衛生用品の補充、健康診断のお手伝いを厚生委員会活動で行っている。

生徒間で、服装や身だしなみの相互チェックを行い、学校内の風紀の現状把握ができるようになった。通学時のマナーについても、「このままではいけない」という意識づけができています。

進学校なので、校外ボランティア活動に学校を挙げて参加することは時間的にも難しいが、部活動の一環として、障害者施設に出かけ、障害についての理解や普通に生活することの大変さを学び、交流することもある。



高校生のボランティアに対しては、社会を知り、大人と触れ合う機会を得て、高校生として何をどう取り組むべきかを知る、実感する良い機会だと思っている。

学校の理念とシステム上、高校生の社会体験を推進することは困難ではあるが、今後の課題として機会があれば、介護施設や障害者施設などを訪問し体験し、そこから感じるものを将来の糧としてもらいたい。